



GIGA スクール通信 vol.7



令和3年度から、GIGAスクールによる一人一台端末を本格的に活用した教育が始まった垂水市。ここでは、市民の皆様にも、GIGAスクールはどういったものなのか解説するとともに、各校の取組を紹介することで、GIGAスクール構想を基にした教育に親しみを持っていただければと思います。

現在、垂水市の児童生徒がロイロノートを共有して活用したり、交流授業を実施したりするなど、自主研修チームの先生方のアイデアが役に立っています。



▲ オンライン情報交換会の様子

■ T3+1メールマガ（毎月2通）の配信

ICT利活用に関する最新情報や各研修会の案内などリアルタイムに配信しています。

■ オンライン情報交換会（毎週火曜日不定期）
GIGAスクール構想の課題解決に向けての会議や先生方のお悩み相談等、幅広く情報交換の場を提供しています。

■ 定例オンラインスキルアップ講座（毎月1回実施）
タブレット端末の具体的操作方法や授業の進め方などを研修しています。

「教職員のICT活用スキル向上」、「教職員のGIGAスクール構想の情報共有」、「教職員による教材開発」のテーマのもと、垂水市教職員のICTに関するトレーニンググループを設立しました。垂水市内の教職員が情報を共有し、自主的に研修を深めながらGIGAスクール構想を進めていくことがチームの願いです。この願いを実現するために、次の三つの実践内容を進めています。

GIGAスクールのまち垂水 「教職員自主研修チーム (T3+1)」設立

〔表4〕社会教育課の重点施策の評価と外部評価委員の点検・評価

※推進状況など詳細は、HP などからご確認ください。

	重点施策		主な実践項目	評価	外部評価委員の点検・評価（一部）
1	生涯学習の推進	1	推進体制の確立と情報提供の充実	3.0	コロナ禍の中、まだまだ人が集まる事に慎重になっている。皆さんで話し合っ決定した講座に参加者が少ないのは非常に残念である。人と会って一緒に交流し学びの場は大切な事であるので、更なる創意工夫で頑張っ欲しい。
		2	学習機会の充実		
		3	学習基盤の整備		
2	社会教育の充実	1	社会教育団体の育成強化と活性化	3.0	青少年健全育成において、垂水市さわやかあいさつ運動評語「じぶんから さきどりあいさつ げんきよく」が最優秀賞に選ばれたことをうれしく思うとともに、今後とも元気の良ささわやかな先取り挨拶ができる児童生徒に育つ健全育成を期待する。
		2	家庭教育・成人教育の充実		
		3	青少年健全育成の充実		
		4	人権教育の充実		
3	文化の振興と文化財保護の充実	1	文化活動の促進	3.0	「新城鎌ん手踊り」の「かごしま無形民俗文化財伝承活動彰」の受賞並びに「大正噴火関連石碑」4基が垂水市指定文化財として指定されたことを評価する。
		2	文化財の保存・活用・顕彰		
		3	市立図書館の利用・推進		
4	スポーツ活動の推進	1	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.0	体育施設の整備として、中央運動公園体育館・たるみずスポーツランド等の補修工事も終了して計画的に実施されていることを評価する。
		2	体育施設の整備充実と有効活用		
		3	スポーツ団体の育成		

〔表5〕国体推進課の重点施策の評価と外部評価委員の点検・評価

※推進状況など詳細は、HP などからご確認ください。

	重点施策		主な実践項目	評価	外部評価委員の点検・評価（一部）
1	全国小学生フェンシング選手権大会の準備と開催	1	競技団体との連絡調整	3.0	全国小学生フェンシング選手権大会の開催延期は非常に残念だったが、引き続き日本フェンシング協会と連携をとりながら、令和6年度開催に向けて準備を進めていただきたい。
		2	効果的な広報活動の実施		
2	燃ゆる感動かごしま国体フェンシング競技の準備及び普及	1	競技団体との連絡調整	4.0	令和5年度の鹿児島国体に向けて、改めて気運を高めていただき、児童生徒たちにとって貴重な体験となるような大会運営を計画していただきたい。
		2	フェンシング競技の普及		
		3	効果的な広報活動の実施		
3	綱引（公開競技）、スポーツチャンバラ（デモ競技）の準備及び普及	1	競技団体との連絡調整	2.0	綱引については、各関係機関との協議を行い、垂水高校の女子チーム作りは是非とも成功されたし。フェンシングはもとより、デモ競技のスポーツチャンバラや綱引も充実させて盛り上げましょう。
		2	普及活動の充実		
		3	広報活動の充実		
4	燃ゆる感動かごしま国体垂水市実行委員会の円滑な事務の執行	1	予算の適正な執行	3.0	不備がないよう複数名でチェックする予算、定期的に課内で協議を行うなど、国体実施へ向けて円滑な事務執行を期待します。

柊原小学校『複式学級における一人一台端末の活用』

柊原小学校では、複式学級で子ども一人一人が主体的に学び、友達と活発に関わり合いながら自主的に学習を進めるための学習用具として、タブレットPCの有効活用を図っています。

授業に際しては、その日に取り組む問題を「課題」として前日までに個々のタブレットPCに送信し、家庭学習で各自が自分なりの解き方を予習しておきます。この予習をしておくことで、授業のスタートがスムーズになり、問題意識をもって授業に臨むことができるようになります。複式学級では、学年別で授業を行う際、ガイド役の児童を中心に学習を進めていきます。これまでは、みんなの考えを知るために、ノートを持ち寄ったり、ホワイトボードに書き出して黒板に掲示したりするなどしてしていました。今では、考えをまとめたノートの写真を撮り、クラウド上に作成した提出箱に各自が送信することで、ガイド係が友達の進捗状況に合わせて効率的に声を掛け、授業を進めることができます。これにより、互いの考えを伝え合い、話し合う時間をより多く確保できるようになりました。また、学習のまとめを先に終えた児童は、A Iドリルに取り組むことで、その日の学習の定着を図るとともに、自分ができること、苦手なことを確認することができます。

現在は、文字入力の手速向上を目指して、タイピングの練習にも取り組んでいます。コミュニケーションツールとしてタブレットPCを活用し、更に豊かに関わり合いながら学習を深めています。



▲ 複式学級での授業の様子